

平成9年秋季特別展

卑弥呼誕生

邪馬台国は畿内にあった？

10月4日(土) - 11月30日(日)

大阪府立弥生文化博物館
日本経済新聞社・テレビ大阪

- 開館時間:午前10時~午後5時(入館は4時30分まで)
- 休館日:毎週月曜日
(11月3日[月]・24日[月]は開館、4日[火]・25日[火]は休館)
- 入館料:個人=一般600円・高大生400円
小中生・65歳以上は無料
団体=一般480円・高大生320円
(団体は20名以上)
- 所在地:〒594 和泉市池上町443
TEL:0725-46-2162
- 交通:JR阪和線天王寺駅から25分「信太山」駅
下車徒歩7分。
南海本線「松ノ浜」駅下車徒歩20分

なみはや国体開催記念

考古学セミナー

時間=午後2時~4時(1時より受付)場所=1階ホール

- 第1回=10月26日(日) 福永伸哉
「銅鐸から銅鏡へ」
- 第2回=11月9日(日) 門脇慎二
「建国神話から倭国・ヤマト王国へ」
- 第3回=11月16日(日) 福井勝義
「民族学から見た王国の誕生」
- 第4回=11月23日(日)
広瀬和雄 寺沢 薫
金岡 想との鼎談「邪馬台国とヤマト政権」

●全回参加者には様式証と記念品を贈呈致します。
本館学芸員による展示解説
………毎週日曜日と祝休日
(午前11時~特別展示室)

平成9年秋季特別展

卑弥呼誕生

邪馬台国は畿内にあった？



▲大型建物と日本最大の初め抜き井戸
(和泉市・泉大津市池上曾根遺跡)



畿内地方の弥生時代観は、近年大きな変化を迎えています。

年輪年代法により弥生時代後半期が従来より百年近く遡る公算が高くなったこと、「神殿」とも呼ぶべき大型掘立柱建物の発見であります。その結果、畿内の弥生文化は、予想以上に早くから発達していたことが明らかになりました。

今回の特別展は、こうした成果を受けて、畿内の弥生社会から「邪馬台国」やヤマト政権が誕生する様子を考えようとする試みであります。なお、この展示会では邪馬台国畿内説にそって全体を構成していますが、これが決定的なものではありません。

今回の展示では、近畿各府県を中心に、近年新聞紙上を賑わした重要な考古資料も多数出品いたします。秋のひとときを古代のロマンに浸っていただければ幸いです。



▲魏の青龍三年(235年)銘を持つ鏡
[重要文化財](京都府峰山町・弥栄町大田南5号墳)



▲高床建物と階段を描いた弥生土器
(和泉市・泉大津市池上曾根遺跡)



▲「畿内」の境に埋められた銅鐔と銅戈【国宝】(神戸市桜ヶ丘神岡遺跡)

主要な展示物

- 「弥生の山城」和泉市観音寺山遺跡出土品の一挙公開
- 加茂岩倉銅鐔と同じ鑄型で作った和歌山市太田黒田銅鐔
- 卑弥呼に下賜された？中平年号銘大刀の初めての復原
- 即位直後の若き卑弥呼の姿を新たな考証により再現
- 銅鐔、年号鏡、香墓古墳出土品など、邪馬台国を語るに欠かせない考古資料400点(国宝7点・重要文化財9点)を出品予定

後漢の中平年号(184~190年)を刻んだ大刀▶
[重要文化財] 復原品を展示
(天理市東大寺山古墳)